

平成 27 年 1 月 30 日

「希望郷いわて国体」等の開催に伴う
岩手県への経済波及効果の試算
(概 要)

盛岡市中ノ橋通一丁目 2 番 1 6 号
岩手銀行中ノ橋支店 3 階
一般財団法人岩手経済研究所
理事長 高橋 真裕
(担当 地域経済調査部 澤田 恭範)

平成 28 年に本県で開催される「希望郷いわて国体」等の本県への経済波及効果は **453 億円**と試算される。

その内訳は、「希望郷いわて国体（本大会）」が 375 億円、「同（冬季大会）」が 31 億円、「希望郷いわて大会（障害者スポーツ大会）」が 46 億円である。

1. 試算の前提条件

（1）大会運営費等の予算

各大会の運営費等は現時点で判明、想定されているもので、本大会が 15,701 百万円、冬季大会が 1,373 百万円、障害者スポーツ大会が 1,927 百万円とされており、その合計は 19,001 百万円となる（図表 1）。

図表 1 各大会の運営費等

		(百万円)			
		事務的経費	競技・イベント等経費	施設整備費	合計
本	大会	6,415	3,016	6,270	15,701
冬	季大会	362	408	603	1,373
障	スポ大会	126	1,318	483	1,927
合	計	6,903	4,742	7,356	19,001

資料：県国体・障がい者スポーツ大会局資料から岩手経済研究所作成

（2）推計来場者数

①大会別の推計来場者数

各大会の来場者数（大会期間中の延べ人数）は、本大会が 838 千人、冬季大会が 72 千人、障害者スポーツ大会が 96 千人と推計されており、その合計は 1,006 千人となる（図表 2）。

図表 2 各大会の推計来場者数

		(千人)			
		選手・監督	大会役員等	観客	合計
本	開閉会式	12	8	11	31
	正式・公開競技	64	112	476	652
	デモスポ	4	2	2	8
	リハ大会	50	70	27	147
本	大会	130	192	516	838
冬	季大会	11	6	55	72
障	スポ大会	24	32	40	96
合	計	165	230	611	1,006

資料：県国体・障がい者スポーツ大会局資料から岩手経済研究所作成

②県内外、宿泊・日帰り別の推計

選手・監督は県内来場者 5%、県外来場者 95%、大会役員等は県内来場者 60%、県外来場者 40%で、これらは全員が 1 人当たり 1 泊と想定している。

観客については来場者数以外に想定はしていないことから、県内来場者 80%、県外来場者 20%と設定する。宿泊・日帰りの割合は、「平成 25 年度版岩手県観光統計概要」を参考に、県内来場者は宿泊 26.1%、日帰り 73.9%、県外来場者は宿泊 50.1%、日帰り 49.9%とする。

以上をまとめると、本大会来場者数 838 千人の内訳は、県内宿泊 230 千人、県内日帰り 305 千人、県外宿泊 252 千人、県外日帰り 51 千人となる。冬季大会来場者数 72 千人の内訳は、県内宿泊 16 千人、県内日帰り 32 千人、県外宿泊 18 千人、県外日帰り 5 千人となる。障害者スポーツ大会来場者数 96 千人の内訳は、県内宿泊 29 千人、県内日帰り 24 千人、県外宿泊 40 千人、県外日帰り 4 千人となる（図表 3）。

図表 3 大会別の県内外、宿泊・日帰り別の来場者数

	県内			県外			合計
	宿泊	日帰り	計	宿泊	日帰り	計	
本大会	230	305	535	252	51	304	838
冬季大会	16	32	49	18	5	23	72
障スポ大会	29	24	52	40	4	44	96
合計	275	361	636	309	61	370	1,006

(注) 四捨五入の関係により合計が一致しない場合がある

資料：岩手経済研究所作成

(3) 来場者の消費支出の推計

来場者の本県における消費支出は、「平成 25 年度版岩手県観光統計概要」の「日帰り宿泊別・県内県外別・観光消費額単価」を採用し、観光庁の「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究（平成 26 年 3 月）」を参考に「交通費」「宿泊費」「飲食費」「土産・買物代」に分類し、それぞれに来場者数を乗じて推計した（図表 4）。

図表 4 各大会来場者の消費支出推計額

	交通費	宿泊費	飲食費	土産・買物代	合計
本大会	5,948	1,672	1,381	2,495	11,496
冬季大会	454	118	105	197	874
障スポ大会	799	242	186	324	1,552
合計	7,201	2,033	1,672	3,015	13,921

(注) 四捨五入の関係により合計が一致しない場合がある

資料：岩手経済研究所作成

2. 経済波及効果の試算

(1) 使用する産業連関表

経済波及効果は、公表されているもので最新の「平成 21 年岩手県産業連関表」を用いて試算する。つまり、平成 21 年当時の本県の産業構造を基に経済波及効果を試算していることから、その後の技術革新や物価変動などは考慮しておらず、特に本県では東日本大震災により産業構造が大きく変化している可能性があることに留意が必要である。

(2) 経済波及効果の内訳

経済波及効果は、1 次波及効果と 2 次波及効果に大別され、さらに 1 次波及効果は直接効果と間接効果に分けられる。

直接効果とは、大会運営費や来場者の消費などで増加する需要のうち、県内の各産業で発生する需要のことである。すなわち、新規需要と直接効果（県内需要）の差分は、県外もしくは海外から調達していることになる。

間接効果とは、直接効果の原材料などの生産による誘発額のうち、県内の各産業で発生する生産額のことである。

また、1 次波及効果のあった各産業では雇用者所得の増加が発生する。この雇用者所得の増加分の一部が消費に回ることで誘発される生産額のうち、県内の各産業で発生するものを 2 次波及効果という。

(3) 大会運営費等の経済波及効果

各大会の運営費等の経済波及効果は、本大会が 24,704 百万円、冬季大会が 2,152 百万円、障害者スポーツ大会が 2,878 百万円と試算され、その合計は 29,734 百万円となる（図表 5）。

図表 5 大会運営費等の経済波及効果

	需要増加額	一次波及効果		二次波及効果	総効果	
		直接効果	間接効果			
本大会	15,701	15,273	3,782	19,055	5,649	24,704
冬季大会	1,373	1,318	354	1,672	480	2,152
障スポ大会	1,927	1,750	515	2,265	613	2,878
合計	19,001	18,341	4,651	22,992	6,742	29,734

資料：岩手経済研究所作成

(4) 来場者の消費支出に伴う経済波及効果

来場者の消費支出に伴う経済波及効果は、本大会が 12,834 百万円、冬季大会が 969 百万円、障害者スポーツ大会が 1,744 百万円と試算され、その合計は 15,547 百万円となる（図表 6）。

図表6 来場者の消費支出に伴う経済波及効果

(百万円)

	需要増加額	一次波及効果		二次波及効果	総効果	
		直接効果	間接効果			
本大会	11,496	7,712	2,787	10,499	2,335	12,834
冬季大会	874	582	210	792	176	969
障スポ大会	1,552	1,048	379	1,427	317	1,744
合計	13,921	9,342	3,376	12,718	2,828	15,547

(注) 四捨五入の関係により合計が一致しない場合がある

資料：岩手経済研究所作成

(5) まとめ

以上(3)、(4)より、本大会の経済波及効果は37,538百万円、冬季大会が3,121百万円、障害者スポーツ大会が4,622百万円と試算される。3大会を合計した本県への経済波及効果は、45,281百万円となる(図表7)。

図表7 「希望郷いわて国体」等の経済波及効果(合計)

(百万円)

	大会運営費等	来場者消費支出	合計
本大会	24,704	12,834	37,538
冬季大会	2,152	969	3,121
障スポ大会	2,878	1,744	4,622
合計	29,734	15,547	45,281

資料：岩手経済研究所作成